

令和5年(2023年)7月28日  
滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課

## 琵琶湖でのアオコの発生について(第1号)

令和5年7月28日(金)10時頃、県琵琶湖環境科学研究センターの職員が守山市赤野井地先で、今年初めてのアオコの発生を確認しました。同センターがプランクトンを同定・計数したところ、その結果は下記のとおりでした。

アオコは、昭和58年(1983年)に琵琶湖で初めて発生が確認されて以来、昭和59年(1984年)および平成26年(2014年)を除いて毎年発生が確認されています。

今後のアオコ発生状況は原則として、県HP「今日の琵琶湖」において情報提供していく予定です。(滋賀県HP トップページ→県民の方→環境・自然→琵琶湖→お知らせ注意→琵琶湖水質調査結果・今日の琵琶湖

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/300014.html>)

### 記

#### アオコの発生状況

発生場所	確認日時	規模	レベル	水温(°C)	構成プランクトン (群体数/ml)	
赤野井地先 (守山市赤野井町)	7月28日	5m× 1m	4	32.0	ミクシステイラ属	2,700
	10時00分				アハベナ属	58,000

#### 〈参考〉

レベル4：水表面を膜状にうっすらとアオコが覆う。

レベル5：水表面に厚くマット状にアオコが覆う。

レベル6：アオコが腐敗し、浮き滓状になって湖面を覆い、腐敗臭を発する。



赤野井地先で確認されたアオコ